



令和7年度「知」の集積による産学連携支援委託事業

参加費無料
会場
先着100名

中四国アグリテック講演会

「農と食の未来を創る!!」

～農業機械・施設によるスマートな食料生産を～

2025年**6月23日** [月] **14:30～17:00** (受付14:00)

会場

岡山国際交流センター+オンライン
2階 国際会議場(岡山市北区奉還町2-2-1)



温暖な気候に恵まれた中四国では、ミカンやブドウなどの果樹をはじめ、水稻や施設園芸などの多様な農業が営まれているが、いずれも生産性の向上や担い手確保などが課題となっている。そこで、現在、推進されているスマート農業の研究・開発の最新状況やマシンビジョン・AIを利用した施設、生産現場での商品化・事業化への様々な取組みなどを基に、今後の中四国におけるスマート農業のあり方、持続的農業、農と食の連携、地域の活性化等について議論を深める。

講演1 14:30～15:30

中山間地における果実類の超精密農業実現を目指して

講師：京都大学名誉教授 近藤 直 氏



京都大学大学院農学研究科修士課程修了(農業工学専攻)、農学博士。岡山大学助手、助教授、愛媛大学教授などを経て、2007年から2025年3月まで京都大学大学院農学研究科教授。現在は京都大学名誉教授。これまでに、アメリカ農業工学会功績賞、農業機械学会賞学術賞、同学会新技術賞、日本生物環境調節学会賞(学術賞)、(一財)日本機械学会ロボメカ部門技術業績賞、農林水産省農業技術功労者表彰、日本農業工学会賞、日本農学賞、文部科学大臣表彰科学技術賞、(公社)大日本農会緑白綬有功章などを受賞。主な著書に『農業ロボット(Ⅰ)(Ⅱ)』(コロナ社)、『生物生産工学概論-これからの農業を支える工学技術-』(朝倉書店)、『Physical and Biological Properties of Agricultural Products』(京都大学出版)、『農業食料工学ハンドブック』(コロナ社、いずれも共著)などがある。

講演2 15:30～16:30

AI・IoT利用による農業のスマート化 -植物と対話をするロボット-

講師：愛媛大学 大学院農学研究科・イノベーション創出院 先端農業R&Dセンター
教授・センター長 有馬 誠一 氏



岡山大学大学院自然科学研究科博士課程修了、博士(農学)。井関農機(株)開発製造本部研究員、愛媛大学農学部准教授を経て、現在は愛媛大学イノベーション創出院 先端農業R&Dセンター 教授・センター長。その他、農林水産省産学連携支援コーディネーター、農林水産省・経済産業省の事業評議委員、愛媛県スマート農業推進協議会・農作業安全対策推進協議会などの業務に従事。
「現在、我が国の農業就業人口は激減中であり、また、地球温暖化のために農産物の安定生産ができいない状況です。食料安全保障は極めて危険な領域に達しています。この難題を解決する1つの手段として、私が所属する愛媛大学農学研究科および先端農業R&Dセンターでは、AI、IoT、ロボット技術を活用するとともに、幅広い分野および産官学民との融合を図り、新しい農業生産システムを早期に実現させることで、可能な限り農産物の供給時間と量、品質、そして価格を一定化させることを目指しています。」

質疑・意見交換 16:30～17:00

参加申込方法・問い合わせ先

右のQRコードから、または、氏名・所属・連絡先をご記入の上、メールにて中四国アグリテック事務局までお申込みください。

特定非営利活動法人 中国四国農林水産・食品先進技術研究会 (NPO法人中四国アグリテック)

✉ : agri-tech2007@dune.ocn.ne.jp

TEL : 086-237-3340

詳しくは <https://www.agritech2007.jp/>



主催：特定非営利活動法人 中国四国農林水産・食品先進技術研究会 後援：公益社団法人 農林水産・食品産業技術振興協会